

科目名	解剖学 I (昼間部)					
分野	専門基礎分野	担当教員	小林 千紘			
開講時期	1学年 2・3学期	単位数	講義	実技	演習	実習
時間数	60		4			
科目の概要	柔道整復師として必要な骨・関節・筋肉についての解剖学的な形態と構造の知識を習得する。					
学習の到達目標	1. 身体の部位を解剖学的に区別できる。 2. 身体の方角用語を正確に説明できる。 3. 生体を構成する骨を列挙できる。 4. 骨の基本構造と結合様式を説明できる。 5. 骨格筋の構造と機能を説明できる。 6. 全身の骨格筋の構成と機能を説明できる。					
成績評価の方法と基準	試験を実施し、60点以上を合格とする。					
使用テキスト	「解剖学」改訂第2版:全国柔道整復学校協会監修、岸 清・石塚 寛著、医歯薬出版					
参考文献						
実務経験を有する者	○					
講義計画	講義内容					
1	人体の部位と用語を理解する。骨格の構成と骨の基本構造を理解する。					
2	関節の形態と機能を理解する。					
3	脊柱(頸椎・胸椎・腰椎・仙骨・尾骨)の形態を理解する。					
4	胸郭(胸椎・胸骨・肋骨)の形態を理解する。					
5	骨盤(寛骨・仙骨)の形態を理解する。					
6	上肢帯の骨(鎖骨・肩甲骨)の形態を理解する。					
7	上肢の骨(上腕骨)の形態を理解する。					
8	上肢の骨(橈骨・尺骨)の形態を理解する。					
9	上肢の骨(手部)の形態を理解する。					
10	下肢帯の骨(寛骨)の形態を理解する。					
11	下肢の骨(大腿骨)の形態を理解する。					
12	下肢の骨(脛骨・腓骨)の形態を理解する。					
13	下肢の骨(足部)の形態を理解する。					
14	頭蓋の形態と頭蓋を構成する骨の形態を理解する。					
15	総合評価(まとめ)					

講義計画	講義内容
16	筋学総論・頭部の筋の構成と機能を理解する。
17	胸部の筋(浅胸筋、深胸筋、横隔膜)の構成と機能を理解する。
18	背部の筋(浅背筋、深背筋)の構成と機能を理解する。
19	上肢の筋(上肢帯の筋、上腕の筋)の構成と機能を理解する。
20	上肢の筋(上腕の筋)の構成と機能を理解する。
21	上肢の筋(前腕の筋)の構成と機能を理解する。
22	手の筋の構成と機能を理解する。上肢の筋のまとめ
23	下肢の筋(下肢帯の筋、大腿の筋)の構成と機能を理解する。
24	下肢の筋(大腿の筋)の構成と機能を理解する。
25	下肢の筋(下腿の筋)の構成と機能を理解する。
26	足の筋の構成と機能を理解する。下肢の筋のまとめ
27	腹部の筋(前腹筋、側腹筋、後腹筋)の構成と機能を理解する。
28	頭部の筋(顔面筋、咀嚼筋)の構成と機能を理解する。
29	頸部の筋(前頸筋、側頸筋、後頸筋)の構成と機能を理解する。
30	総合評価(まとめ)

(2025年度)